



三谷ファミリークリニック

# ～ミタクリ通信～ 2019年5月号

2019年5月1日

発行所：医療法人三谷ファミリークリニック

発行人 / 巽欣子・三谷和男・米本千春

〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁354-1

電話 072-260-1601 FAX072-260-1603

1日、令和がスタートしました。一世代の区切りが30年といわれますから、ある意味英断と言えるでしょう。4月、やっと新しい環境に慣れてきたかな、と思ったところに長期休暇・再スタートはエネルギーが必要です。さあ、ギアをきりかえて！



毎年、この時期は「風薫る五月」と書かせていただいておりますが、この間までの肌寒い気候はどこにいったのか、半袖姿の方も見かけることが多くなっています。「どんな服装が合うの？」ゴールデンウィーク、皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。そして、7日の再スタート以後、こんどは外来ラッシュでさらにお待たせしてしまい平身低頭です。元号が令和に改まり、世の中はお祝いムードが漂っています。何もかもが新しく・・・のようですが、ちょっと待ってください。気分一新は、私たち一人一人の主体的な役割は何か？を考えるきっかけとしたいですね。

## 【ニュース】

### 1. 診療日の変更をお知らせします。

今月の休診・診察医の変更はありません。

### 2. さかいDMウオーク2019

さかいDMウオークは、今年も天候不良により中止になりました。参加予定の方、準備にあたられた方にとっては二年連続で残念な結果でしたが、めげずに来年を目指したいと思います。今年、日程の都合で参加がかなわなかった皆さん、来年はよろしくお祈いしますね。

### 3. 待合室がリニューアルしましたよー！

1月5日、今年最初の診療スタートの日は、クリニック内に「雨」が降っていました。この日に受診された方はよく覚えておられるかと思います。受付は一診で行い、受診に来られた方には傘を用意しましたね。この水漏れ事故の改修を、このゴールデンウィークを利用して行いました。待合の天井と壁紙の張り替え（田中さんのセンスで壁紙はツートンカラーにしました）、照明器具も一新してまます。お手洗いの壁紙も明るくなりました。お気づきになりましたか。

## 【ミタクリ漢方 漢方医学復興への道 「醫界（いかい）の鐵椎（てっつい）」その2】



（前号より）どうしても勉強がしたいと啓十郎は松本尋常中学（現・松本深志高等学校）を経て1891年（明治24年）、医学専門学校済生学舎（現・日本医科大学）に入学、その年に古本屋で江戸時代の漢方医、吉益東洞（よしますとらうどう）の『医事或問（わくもん）』に出会ったのです。この書は、いくつかの質問に対し、吉益東洞がこれに答えるという形式をとっていますが、まさに医療思想の根本に関わる問答集です。皆さんは「人事を尽くして天命を待つ」という表現をご存じでしょう。ここには「天」という無限の存在を「人」という有限の存在は思惟できない、という明確な発想があり、大自然と

私たち人間の存在との関係が明らかにされています。この発想に感動できる力量を啓十郎はすでに兼ね備えていたわけです。さて、醫界の鐵椎ですが、ここには現代の医学医療の問題にも通じる内容が盛り込まれています。最初出版されたのが1910年（明治43年）で、改訂版が出版されたのが1917年（大正3年）でしたが、「此間洋方醫學ノ進歩ハ、駸駸乎トシテ底止ヲ知ラズ、新ニ病源ノ發見セラルル者アリ、新ニ二藥性ノ開明セラルル者アリ・・・（中略）然レドモ是レ物質的病源學ノ進歩ノミ、差別的方面の發展ノミ」と述べています。つまり、当時も西洋医学の進歩に関しては枚挙に暇がなく、日々進歩しているように言われているが、これは差別的つまり臓器組織の問題のみに焦点を当てたものである、と語っています。そうですね、「病氣」が治れば「病人」が治るというロジックで話は進んでいますが、必ずしもそうではないことを啓十郎は指摘しているわけです。さあ、初版が出てから平出隆軒はじめ多くの医師からの批判を一身に浴びました。改訂版はその批判に対するものだったわけです。いま、私たちの勉強会ではこの書を取り上げ学んでいます。彼の一言一句の情熱を受けとめつつ・・・

【ヤギの由無し事（よしなしごと） 米本千春】



連休明け、恒例の葛城山に登ってきました。ツツジで有名なほうの“大和”葛城山です。毎年テレビや新聞で、山頂がツツジで真っ赤になるニュースをご覧になったり、実際に登った方がいらっしゃると思います。今年行った時はまだ五分咲きでしたが、「一目百万本」と言われるツツジは見ごたえがありました。いかにも植えられたように見えますが、自生しているそうです。秋のススキ、冬の樹氷もお勧めです。

大和葛城山と金剛山は大阪府南河内郡千早赤阪村と奈良県御所市の県境にあります。人口をみると、千早赤阪村は大阪府で一番少ない村、御所市は奈良県で一番少ない市です。私はツツジの時しか御所市に行くことはなかったのですが、御所市には歴史的に大事な場所がいくつかありますので、ご紹介します。

1. 三光丸のふるさと

奈良県御所市・高取町一帯は和漢薬のふるさとであり、日本の医薬の成り立ちに深い関わりをもっています。御所市には健胃薬三光丸の会社とその資料館「三光丸クスリ資料館」があります。三光丸にはセンブリ、オウバク、ケイヒ、カンゾウの4種類が配合されているそうです。詳しくは…三谷院長に聞いてみてください。

2. 役行者（えんのぎょうじゃ）のふるさと

大和葛城山にある「葛城天神社」の御祭神は国常立命（くにのとこたちのみこと）ですが、役行者像が祭られています。役行者は修験道の開祖と呼ばれ、金剛山・大和葛城山から始まり、熊野・大峰（大峯）で山岳修行を重ねました。役行者が生まれたのが御所市です。

3. 全国水平社のふるさと

全国水平社は1922年3月3日に創立されました。結成の中心となった青年達は御所市の出身です。全国水平社発祥の地であり、人権の故郷というべき地になります。

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と高らかに人間の尊厳と平等をうたいあげ、水平社宣言は日本で最初の人権宣言と言われました。平和と人権の確立をめざす部落解放運動の原点が全国水平社にあるといえます。御所市には「水平社資料館」があるそうです。

大和葛城山の山頂からは、大和三山が一望できました。〈天香久山（あまのかぐやま、あめのかぐやま）、畝傍山（うねびやま）、耳成山（みみなしやま） 皆さんもいにしえの地に思いを馳せてみませんか？

【外来担当医一覧 2019年 5月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽 米本	米本 三谷	巽 三谷	巽 米本	巽 三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	巽(予約) 米本(訪問診療)	巽(訪問診療)	巽(予約) 三谷(訪問診療)	巽(訪問診療)	巽(予約) 米本(訪問診療)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	